

## 公正で誠実な企業活動に向けて

企業統治への社会的関心の高まりから、企業は経営のより高い透明性の確保や、企業価値を向上させるための実効性のある取り組みを行うことが求められています。安藤ハザマは取締役会の諮問機関として「ガバナンス諮問委員会」と「内部統制委員会」を設置するなど、ガバナンスの一層の強化に取り組んでいます。

### ガバナンス諮問委員会・内部統制委員会の設置

#### ガバナンス諮問委員会

当社は、取締役等の指名・報酬等に係る事項に関して、取締役会の決定の公正性・透明性・客観性を担保するために、任意の諮問委員会である「ガバナンス諮問委員会」を設置しています。当委員会は委員長および委員の過半数を社外取締役で構成し、取締役会の諮問等、規定により審議対象と定められた事

項を決議し、必要に応じて審議結果を取締役会へ答申します。2020年度は、通期で8回開催し、取締役の選解任、新執行体制に係る役員人事および報酬等についての審議を行い、その結果を取締役会へ答申しています。

#### 内部統制委員会

当社は、内部統制システムの実効性向上と継続的改善のため、内部統制システム全般に関する取締役会の諮問委員会である「内部統制委員会」を設置しています。当委員会は取締役兼務者を含む執行役員で構成し、内部統制システム全般の有効性・運用状況・改善策、リスク管理体制の整備・運用・見直

し等について、取締役会に答申します。

2020年度は4回開催し、内部統制システムの基本方針の改定や内部統制システムの運用状況の確認、全社的リスクマネジメント体制の整備等を審議するとともに、その結果を取締役会に答申しています。

### 安藤ハザマグループのコンプライアンス活動

2020年度も継続して「あなたの職場での日常業務におけるコンプライアンスポイントは何ですか？」を推進活動テーマとし、ポイントを日常的に意識するための工夫を各職場に求めるなど、取り組みをさらに強化することで、コンプライアンスを常に意識した企業風土の醸成に努めています。

「利用する」というマニュアル本来の機能に特化し、全役職員が理解しておくべき事項を改めて明確化するとともに、効果的に活用できるよう、コンプライアンスマニュアルを全面改定しました。

社外講師を迎えた研修では「ハラスメントの防止～防止は一人ひとりが主役～」を実施し、「ハラスメントがリスクであること」を再確認しました。

このほか、映像視聴のEラーニングやWEBテスト形式の研修などを実施し、いずれも100%の受講率を達成しています。

また、メールマガジンを月々配信し意識・知識の向上につなげる効果を期待しています。

今後も工夫を行いながらさまざまな啓発活動を実施していきます。

## 社外取締役メッセージ



藤田 正美  
社外取締役

### コンプライアンス推進について

#### コンプライアンス教育の継続的取り組みが重要

コンプライアンス推進委員会は、コンプライアンス教育計画の決定、実施状況の確認を担い、年2回開催しています。2020年度は社内外のコンプライアンス抵触事例を全社員に展開し、知見更新さらにはジブンゴト化を推進する一方、コンプライアンスマニュアルを改定。100ページを超えていた内容を大幅にスリム化し、重要事項を明確化することで社員の理解促進を図りました。

過年度に当社社員のコンプライアンス違反などに絡み社会の皆様にご心配・ご迷惑をおかけしたことを重視し、社外取締役の委員長として、引き続きコンプライアンス状況の監視ならびに客観的な見地からの助言・指導を徹底し、適時・適切な軌道修正を導く一方、ESGやSDGsなど広義のコンプライアンスに関する問題提起にも、一層心がけていきます。

### 女性活躍について

#### 女性社員のさらなる活躍へと、取り組みを一段進める

長期ビジョンの「イノベーションの加速で新たな価値を創造」を実現するには、多様な人材が能力を発揮する必要があり、中でも女性が一層活躍できる企業への変革は、重要な経営戦略の一つであると考えます。当社は、2020年度に女性活躍推進法による行動計画を更新し、新たな女性の採用目標を設定しました。今後の採用施策により、早期の目標達成を期待しています。さらに、建設業界では女性管理者が少ないという現状の改善に向けて、ライフイベントを踏まえたキャリア制度の整備や意識啓発、能力開発の研修等を充実させ、男女ともにアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)を克服し、働きがいと働きやすさの両立が加速されることを期待しています。

社外取締役として、ジェンダー、キャリアパス、年齢、国籍等の異なる多様な人々が存分に能力を発揮できるダイバーシティ&インクルージョンを推進し、イノベーティブな価値創出に貢献していきます。



桑山 三恵子  
社外取締役



北川 真理子  
社外取締役

### ガバナンス諮問委員会について

#### 指名・報酬決定プロセスの透明性向上を目指す

ガバナンス諮問委員会は、社外取締役を主要な構成員とする任意の委員会として、指名・報酬の決定プロセスに客観的な視点を入れ、取締役会の監督機能を強化する目的があります。

2020年度は、業績連動型株式報酬制度の改定において、部門間、担当業務による評価のバラつきを低減させるための指標の持たせ方など斬新かつ綿密な制度設計を行うとともに、コーポレートガバナンス・コード改訂を踏まえ取締役会全体として必要な知識・経験・能力のスキルマトリックスを特定し、取締役候補者の全体バランスを検証しました。

新たな取り組みとしては、将来の執行役員候補となる幹部社員の昇格面接に社外取締役全員が面接官として参加。社外に身を置く立場の視点で候補者のキャラクターや能力を“客観的に”判断するよう努めるなど、本委員会の役割は多岐にわたります。

これら取り組みの効果そして課題は今後顕在化していくこととなりますが、必要に応じて柔軟に修正や更新を加えつつ、安藤ハザマの企業特性を生かしたガバナンスのあり方を目指し、今後も委員会の議論を闊達に行っていきます。